いわき民報
平市田町四八 電三八一番
編輯兼發行人 千輝克巳
兼印刷人
日刊 但月曜を除く
定價一月卅九円 一部一円三十錢
發行所 いわき民報社

設計請負 平土地住宅 有限會社 社長 正木昌次郎 平市田町 電二〇一番

平署廳舍問題
急速な解決は困難か
平市は自治署への明渡し要望

平市の地區自治兩警察署は建物の關係から舊平警察署內に共同生活しているが、現在でも狹くて困つているのに過般の警察陣强化に依つて地區署は六名增員、自治署も缺員が一時に八名も補充され、その上雇員書記五名採用すると兩署員を收容し切れない狀態になり、急速に兩署分を必要とされて來た

平市の警察建物問題は原則的に舊警察廳舍を地區署に充て、自治署に對しては國庫補助百五十五萬圓割當て新築するやう縣から指示を受けているが、これに對し平市當局は「地區署は自治署より人員が尠いのだから他へ適當な廳舍を建て本署を自治署に明け渡すべきである」と縣當局に要望し、縣內四市長が同樣の申合せをして舊廳舍接收に主眼を置いているため、兩署の廳舍問題は急速な解決も困難と見られ、兩署とも當業者は困り切つている

市の拒否理由
結局自治署建設後交換交渉で解決か

平市が自治署の建築を頑强に拒否している理由は、國庫の百五十五萬圓では豫定工費の半分位に過ぎず、百五十萬圓位補給せねばならない、市廳舍建築費にも行き惱んでいる際、寄附金集めも容易でないから舊廳舍をそつくり貰つて負擔を免れたい肚のようである 一方縣當局としては平市の要望通り舊廳舍を市署に渡すと、四市は勿論、縣內全般に亘つて自治署へ舊廳舍を要望する事になり、斯くては拾收出來ない狀態になるから、平市の要求に理由があつても讓歩出來ないというのが實情である 四市のうち郡山、福島兩市は縣當局の苦衷を察し 一先づ自治署を建築し完成させてから地區署との交換など考慮して貰うことになつた 平市も結局平市同樣先で自治署を建て、然る後交渉するより他解決の道がないものと見られている

街の振興目指して
中央通振興會
本社提唱七夕復活にも參加

平市驛前田町通り三四丁目横丁の商店街四十八軒は四日夜伊東一氏宅に會合 街の振興策について協議の結果「中央通り振興會」を結成し役員も左の如く決定 夜間も九時まで營業を續け、又本社提唱の七夕復活及びウヰンド競技會にも參加に決り夜店の開店や大賣出しについても協議した
▲會長伊東一、猪狩四郎 ▲會計、村山深谷

民生委員會 常務委員會

市民生委員會常務委員會は七日午前九時から市役所に開き支部運營について審議する

平地區署 特別機動班成る
隊長は渡邊警部補 きようから活動を

新に警察陣容に强力な機能を持つ平地區署特別機動班は隊員に渡邊德一警部補が當り横川重夫巡査部長(保原)以下新任、植田當、高木登治、石井直、樋口貞定の各巡査(內部長一名缺員)の新陣容で五日から發足したなお同班の特徴は地區、自治管內を問わず現地捜査など特殊な機動性を以つて活躍する事が出來るので大きな期待をかけられている

驛前檢診所 大繁昌ぶり

平驛前の街頭檢診所は、連日百人前後の人達で大繁昌、特にツベリクリン注射をする者が多く、これらはついでにレントゲン寫眞も撮つている又血液檢査が二十名位であるがレントゲン寫眞は小型で料金は十五圓、注射は一圓五十錢となつている

衣料登錄店更新
あす説明會を開く

衣料登錄店の更新に伴う事務説明會は六日午前十時から平市(場所未定)で平、石城、双葉一市二郡下の業者並に市町村配給係等關係者が參集して縣主催で開かれる 今度の登錄更新は既報の如く縣諮問委員會で現業者の中から實績により七割は無投票で存續させることになつており新登錄は來月十日ほど決定した、同日二十三年度衣料切符(十五點)が交付されその中に投票用紙が刷込んであるが若し存續に決つた商店へ投票するものは白紙投票すれば良いことになつている

炭礦野球
山口鑛(茨城)優勝
勿來鑛決勝に敗る

全國炭礦軟式野球常磐地區豫選大會は三、四の兩日平市營、平商高、平工高三球場で開催、實力伯仲から息づまる熱戰が展開されたが茨城山口礦チームが見事優勝 榮えの代表權を獲得 二十八日から三日間東京戸塚球場での全國大會へ出場することになつた

▲第一回戰
勿來5—13古河A
內鄕7—1植田
常磐製作A 0—0 隅田川(コールドゲーム)

▲第二回戰
山口2—1山一
勿來12—0赤井(コールドゲーム)
湯本2—0中鄕
久ノ濱7—4楢形
田人 棄權—田川
古河B 2—0 內鄕
鹿島A 9—0 日東宮

▲準々決勝
常磐製作5—2田人
勿來3—0湯本
久ノ濱9—6鹿島
山口5—1古河B

▲準決勝
常磐 00000002—2
山口 3000000—3
久濱 101001000—3
勿來 10000201—4

▲決勝戰
勿來 000200000—2
山口 012010000—4
勿來(鈴田、橘—佐々木)
山口(福田—外地)

体驗放送者決る
安全週間行事

福利協會平支部、平石炭局共催の炭礦災害体驗並にその防止手段發表大會は安全週間の一行事として四日午前九時から湯本自治會館に開き、衛生保安關係者五十名集まり、お互に活潑な災害体驗防止對策の發表交換や講演を行つたが、來る十日午後六時半から郡山放送局から十五分間放送する代表者を左の通り二名選定もした 湯本坑機械工手井上憲一 常磐礦業所坑內保安係員志賀麟一郎

電話加入權公賣
平税務署差押處分

平税務署では去月十八日から滯納處分執行を開始以來五日現在で差押したもの平十五件、勿來江名十五件の三十件だけであるがなほ小名濱その他の町村を調査すれば相當數にのぼるものとみている 平の十五件は主に法人税の滯納處分で總額十三萬五千圓となつており左の十三件がそれぞれ電話加入權が公賣告示されており入札は十三日午前九となつている
五二八、五一六、八八二、九七三、八九七、七二、一四七、二九四、二〇二、四八六、六五六、六六五、九四〇

小名濱町優勝
郡下市町村對抗野球

石城郡下市町村役場對抗野球大會は四日午前九時半より小名濱第一第二兩小學校並に中學校の三グランドで開き次の如く小名濱役場が優勝した、なお三回戰は都合で地方事務所對小名濱が棄權、決勝の平對小名濱戰は降雨のため四回戰で中止小名濱の勝と決つた

第一回戰
小名濱5—1植田
湯本9—6四倉
赤井13—1草野
平6—5內鄕

第二回戰
小名濱15—10泉
地方事務所11—10湯本

第三回戰
平6—5上遠野
平10—6井赤

〔決勝〕
小名濱6—3平

加工水産物 罐詰 新鰹節 火入乾海苔 登錄店 御買上げを願ます 卜印伊藤商店 平市四丁目(電)五二八

炭礦技術會が 三權威を招き
八日講演會

東京炭礦技術會では八日の總會當日には斯界の權威東大教授青山秀三郎、北大教授佐藤與助、同鈴木龍三の三工博士を講師に大講演會も開くことに決定

地區駐在異動

平地區署管內駐在巡査の移動が五日發表された(カッコ內は舊任地)
◎長倉 角田秀雄(下好間)◎澤渡 田崎源三(長倉)◎大浦 田中權作(澤渡)◎神谷 小林繁勝(川前)◎川前 吉田旦(神谷)◎下好間 鈴木勝榮(平地區)◎鹿島 赤津力雄(同)◎飯野 橋本利夫(同)

藤倉アナにかわつて
和田アナが來平
人氣わく白銀青年會のノド自慢

來る十四日平市世界館で開催する白銀青年會引揚連盟主催の廿のとびらノド自慢大會にHKの藤倉アナは都會により來られず和田信賢アナが來平に決定し、當日の最優秀者は郡山放送局から放送されることになり又副賞は福島民報社と本社から授與される、廿の扉の解答者は多數の應募者があるが現在の處左の諸氏が人氣を呼んでいる
本田市警察署長 桑原夫人、木澤先生、志村裁判所長、鈴木傳明 鈴木光四郎 千輝克巳、遠藤節 大河原一郎 酒井醫師夫人 市井茂 吉田放送所長 荻原義雄、金成醫師夫人 高野吉男 鈴木市長 神谷彙次郎 税務署長、井上正、伊東一 下山田勤 中島湖洲 根本忠孝 佐藤千之吉、瀧川保雄 富澤有爲男 草野心平 橋本先生 小泉先生 諸橋元三郎 正木昌次郎、畑弘平 大井川幸隆・大井川正巳 菊地康雄

本社通じ震災地へ
植田町青年民主會 第一回義金募集

植田町青年民主會では福井地方の大震災に逸早く會員總動員で驛前等で街頭義えん金募集を去る三十日から三日間行つたが、總計三千四十四圓九十錢に達したので二日午後齋藤、吉野正副會長が本社に出頭寄託した、なお同會では更に第二回の募集にも乘出すことゝしているが、同會の殊に一般女性會員の努力は一般からも强く感激されている

いわき寸言

▲衣料品登錄店更新、實績本位も考えもの、サービス本位にしては▲オレがオレがの世の中、結局鐵面皮の人間の世の中ですナ▲謙讓の美德昔の辭書にはこんな言葉もありましたツテ

皆様の熱望に應へて
好評の ターザンの黃金 更に八日迄三日間續映
九日から四日間
過日絶讃を載きました 名畫 心の旅路 再登場
聚樂館

◇六日より十二日まで◇
魔王の指先がきらめいて嵐を呼ぶ 永遠の謎につゝまれた人か惡魔か!!
不死身の魔王
S・ストリヤロフ ゲ・グリゴーリヤ ゲ・ミルリヤル ア・シルショフ
平市紺屋町 電九二〇 平東寶

衣類一般御買受(電九六番)
御處分品の御相談は必ず弊店へ……
中銀座ヨコ紅小路通り(梅ノ湯横通り)
即金 誠實上値の買受店 大崎屋

◇六日より十二日まで◇
此の哀れな女は貞操を失なつて貞操を得た、そして又時代は男の貞操を求めて止まぬ——その貞操?
時の貞操(前篇)
若原雅夫 原節子 見明凡太郎 オールスターキャスト
電五八 世界館

◇六日より三日間
キネマ旬報ベストテン第一位當選
榮冠に輝く傑作 安城家の舞踏會
原節子 瀧澤修
平市南町 電四六六 平館

內科 小兒科 平市仲田町六九 三井醫院 三井五郎 電六一番

七月の主食配給は

食公平出張所の見透しを聴く

最近の主食配給状況は遅配こそしていないがその實はイモ、砂糖などが多いためむしろ各家庭の台所とも僅かの米を如何にやり繰ろうかと四苦八苦の有様であり更に近く主食代替の鑵詰配給や大小麥の配給が始まればなおそれだけお米の分が差引かれることにもなり一層工夫が必要となる、記者は三日午後この難かしい配給操作を行つている食糧配給公團平出張所に左の一問一答を行い七月の主食配給見透しを聴いて見た—

米は十五日分　あとはイモと砂糖　但し是も豫定計畫

【問】今月の主食配給状況はどうなつているか、またその見透しと計畫を……

【答】七月はイモ十日米十五日、砂糖六日を豫定している、うちイモは五日分、米も五日分は既に渡してある、現在取扱中のイモを終してから米五日分を配給し更にその次に砂糖六日分を續いて渡す計畫をたてゝいる

【問】そのように必ず豫定通り行くのか 例えば途中で鑵詰などの配給を始めたりしないかどうか、今云はれた計畫は不動のものであるかどうか聞きたい

【答】實はこれも豫定であつて不動のものではない、鑵詰（干アンズの見込み）も二日分位貯藏してあり明日にも放出許可があれば直ぐ渡すようになる、もしこれが實行するとなれば當初の米十五日分からその分だけ差引くことになる譯だ、また今月末ごろから大小麥の加工を始めるのでこれも間に合えば配給操作の中に入いるだろう、然し當所としては前言の豫定で進める見込みをたてゝいる

八月以降は麥で　困るイモの無計畫出荷

【問】その麥は八月から操作計畫に乗る豫定か

【答】恐らく八月以降は麥が多くなる見込みだ、當地方は大麥が多いので是は粒のまゝ、小麥は粉で配給するだろう、今夏は粉食で乗切る考えを持つてもらいたいと思う

【問】今配給中の馬鈴薯の中には相當ひどいのも混つているようだが—

【答】イモについては當所でも弱つている、大体計畫の樹て方がおそくイモが出始まつてから供出計畫に乗せようとしている、食糧事務所石城支所の云分では農村から出た分は直ぐ引取つて配給を急げと云つている 各町村とも今年のようにベト病が多いとどこも競つて早く出荷したがるのは當然で同支所でも出荷先をそれ〲指示して來るが然し公團では引取能力というものには倉庫や人員の關係で限りがありとてもそう簡單には行かぬ、是を防ぐためには出盛前に各町村宛の供出割當の日割を設けるべきで無計畫にやられても困るばかりだ、毎年同じ事を繰返さぬようにはつきりした計畫を持ちたい

時間外の取扱も考慮中

【問】イモの取扱いについて何にか注意事項はないか

【答】良いイモから先に手をつけたがるが悪いものから先に喰べるようにしたい、特にベト病は早く食べないと傳染が早いので注意が肝要だ、なお八月には白砂糖が到着する豫定にもなつている

【問】イモなどが大量に配給になると男が勤めから歸らないと運搬に困るとか勤め人の未亡人が歸つてから配給所に行つたところ時間外で斷はられたとか色々話を聞くが四時以後でも主食の取扱は出來ないものか

【答】下手に役人になつたばかりに時間外は駄目です、晝休みは受付けませんなどと云はないよう或る程度そうした事務にも彈力性をもたせて行くよう指導しておりつまらぬ公團根性などと云はれないようにして行くつもりで骨折つている、特定日の時間外取扱についても考慮しよう

【問】配給の周知方法はどうしているか

【答】各配給所に連絡員を設け此の人たちが品目、數量、値段等を知らせている、今後は一層改善に努めたい、良案あれば市民から投書を願いたい・

配達制　人手不足で現在は實現は容易でない

【問】米の配達はいつになつたら實現出來るか

【答】平出張所管内は遠く三阪方面の山間部から赤井、好間 内郷の炭礦地帯 更に夏井豊間などの片濱まで一市二町十三ケ村で受配人口十一萬五千人、此の一ケ月の消費量は米で二萬二千俵 實際は最近丸農が殖えて來たためこれより多い、大体私たちの考えからすれば配達制は勿論の事市民への絶對サービスをよくするには一日五俵に一人位の割で係員が欲しい、現在は百二十三人の所員のうち三十人はとう精部員、二十人は事務員で殘り七十三人が配給所員である、此の二萬二千俵を一日に換算して七百三十俵、更に五俵に一人の割で計算すると百四十六人となり七十人は不足している數字になる、どう云う譯で仲々配達制も實現困難であるが然し一日も早く實現するよう努力している、また最近は列車取締りなどで所員も徹夜の別なく働いておりその點もよく理解して欲しい

精神科　内科　平市搭樋小路　アラタメ　新田目醫院　電15

一級檢定品　サトウ電球　平硝子製作所　本社 平市田町二六　電話五五七一・七六五番

本社少年軍快勝　對湯本榮田戰

いわき民報社少年部では四日湯本町榮田少年チームを迎え平市營球場で對戰したが左の如きスコアで湯本軍を壓倒、前回の雪辱をなした、なお次回は湯本に遠征の豫定

民報 9344A
榮田 12301
7—20A

第二回戰田町對榮田戰は十四對二て（コールドゲーム）榮田軍が快勝

炭鑛技術會の總會延期

東部炭礦技術會の總會は八日開催する豫定であつたが、都合により十一日午前九時から淺野會館に開らくことに變更

小名濱港問題　先づ笠あげ工事　新港灣會社は一切の見透しがついた後に

小名濱三千トン岸壁の荷役設備は既報の如く産業復興公團から四千六百二十萬圓の投資を仰ぎ完備すべくこれに伴う新港灣會社の設立について町側でも樋口町長以下全町議が發起人に加はる豫定であつたが、その後各關係者間に幾分意見の食違があつたものの如く新港灣會社の設立もそのまま停滞の形となつていたがこの程商工省渡邊事務官、運輸省佐藤技官、仙台商工局齋藤事務官、産業復興公團齋藤企劃係員等が小名濱町役場を訪問、地元側から樋口町長を始め縣土木部君島技官、海運局、小名濱港湾事務所等からも係員が參加、小名濱港の荷役設備などについて懇談した結果、現在の埠頭では波が高いと積上げた荷が押流される恐れもあるので三千トン岸壁に波除けとして笠あげ工事を行うことになりこれに對し商工運輸兩省では地元の町並に縣當局へは負擔をかけない方針で臨むことを約し同工事は兩省が中央で協議した上どちらか一方の手によつて進行せしめることになつた 一方新會社の設立については前記笠あげ工事の竣工と共にグレーンなどの諸設備が出來得る見透しがついたときに始めて設立を見るべくこうした點を無視して新會社を設立しても仕事の出來ない狀態では困るので堅實な方向をとることに意見が一致した

買受專門　衣類。洋服。貴金屬　書畫時計高級家具その他　平市大町通り　鈴木商會

上期炭住計畫　三大炭鑛分のみ決る

本年度上期炭礦住宅計畫のうち常磐、古河好間、大日本勿來の三大礦分は左の通り決定された、合計で住宅新築七百十四戸、合宿四むね、厚生設備三十七むね、移動改築六十四戸修理千二百一戸となつている

▲常磐炭礦　住宅四六〇戸（五 五二〇坪）合宿一むね（一二〇坪）厚生設備一四むね（一、三二八〇坪）修理七四三戸（一〇〇六〇坪）

▲古河炭礦　住宅四四戸（五二六坪）厚生設備五むね（二九〇坪）移動改築一四戸（一六三坪）修理二一八戸（三、〇五三坪）

▲大日本勿來炭礦　住宅二一〇戸（二一五二〇坪）合宿三むね（六四六坪）厚生設備十四むね（八三八坪）移動改築五〇戸（六〇〇坪）修理二四〇一戸（三〇〇〇坪）

優秀各種　ミシン　販賣・修理・部品　平二丁目安田銀行向側　石川商會ミシン部

鐵道員のヤミ米買

植田町金畑平車掌區勤務市川安秀（三七）は去る一日相馬郡鹿島村附近の農家から白米四升五合を買つて夜十時半ころ平驛に來たところ待合室で氏名不詳の男から列車檢索で運べないから米を買つてくれと言れて二斗を讓り受け翌二日朝五時頃構内から上り列車に乗車せんとしたところを平市署篠谷巡査に御用

盗難　配給米八俵　平食公倉庫で

食糧公團平支部才槌小路倉庫の錠をバール樣のもので破られ玄米十一俵を盗まれているのを三日午前十一時頃才槌小路柳生秀隆さん（三八）方の風呂場側に玄米一俵が投げ捨てゝあるのから判りさわぎとなつたもので、同倉庫は城坂踏切の眞向側にあるが踏切番人等が全然氣付かなかつた點等からみて犯行は眞夜中と見られているが捜査の結果、賊は運びきれず倉庫前にも一俵又海老原クリーニング店洗濯場裏にも一俵置き去りしてあつた 平市署では近在に住む四五人共謀の仕業とにらんで嚴探中

少年溺死

四日午後一時半頃湯本町字台ノ山無職吉田キさん長男武一君（一二）は磐崎村字下船尾附近の藤原川で水泳中溺死

婦人民生委員　研究協議會　十九日平公會堂に

市並に郡下各町村婦人民生委員の研究協議會は十九日午前九時から市公會堂日本間に開き先に縣で開いた婦人民生委員協議會に出席した平市金成キミ飯野村橋本ミナ兩女史を中心に兒童福祉の問題や共同募金の反省などを協議する、特に縣協議會へは平市より要保護家庭の家計簿記載奬勵などが提案されておりまた保健婦を民生委員の組織の中に加える事なども取上げられているので同日は此の問題も論議される見込みである

新炭價概算支拂を協議

常磐石炭では五日午前十一時から管内各炭こう代表者關係者を集め新炭價による概算拂その他に就き協議した

法廷だより

▲赤井村上台無職中木英夫（二七）は食糧管理法違反で罰金八〇〇圓

▲小名濱町西町農松崎重好（三三）は食糧管理法違反及物價統制令違反で罰金八百圓

▲上遠野村大字上遠野町菓子販賣業鈴仁郎（五七）及び全村木炭業鈴木光の兩名にかゝる物價統制令並に臨時物質需給整法違反被疑じ件は光が罰金參千圓仁郎が全貳千圓

▲道渡邊村由部農大竹雄（三八）は食糧管理法違反物價統制令違反で罰金八百圓

計算器販賣　修理
英文タイプライター　邦文タイプライター
タイピスト養成所
榮タイプライター商會
平市田町五五　電二〇四番

移轉御挨拶
今回左記に店舖を新築移轉致しました今後共御引立の程を願上ます
舊店舖　平市田町一九
新店舖　平市田町五二（いわき民報社向側）
理容器具　化粧品かつら
安藤かもじ店

中古衣類破格販賣
販賣品目
御婚禮江戸褄　モーニング　高級衣裳　その他
▽盛夏單衣若柄在庫豊富△
お求の際は是非一度御相談下さい
中古衣類問屋　中央會館
平市田町（平館隣り）電九一五番

壯快な地曳網
捕魚　スズキ、ウグエ、ボラ、ウナギ
△食料其の他御持參
△御申込みは、二、三日前に……
⊙植田驛前案内所若松屋旅館電五三番
⊙驛より二十丁、植田町海岸
鮫川誇揚會

機械工具
ドリル。タツプ
ダイス。スパナー
類他各種工具
水道用鉛管入荷
平驛前通白銀町15
高平商會

内科　小兒科　外科
若松醫院
若松吾信　小野彌久
（入院室完備）　平市大町二三　電五〇五番